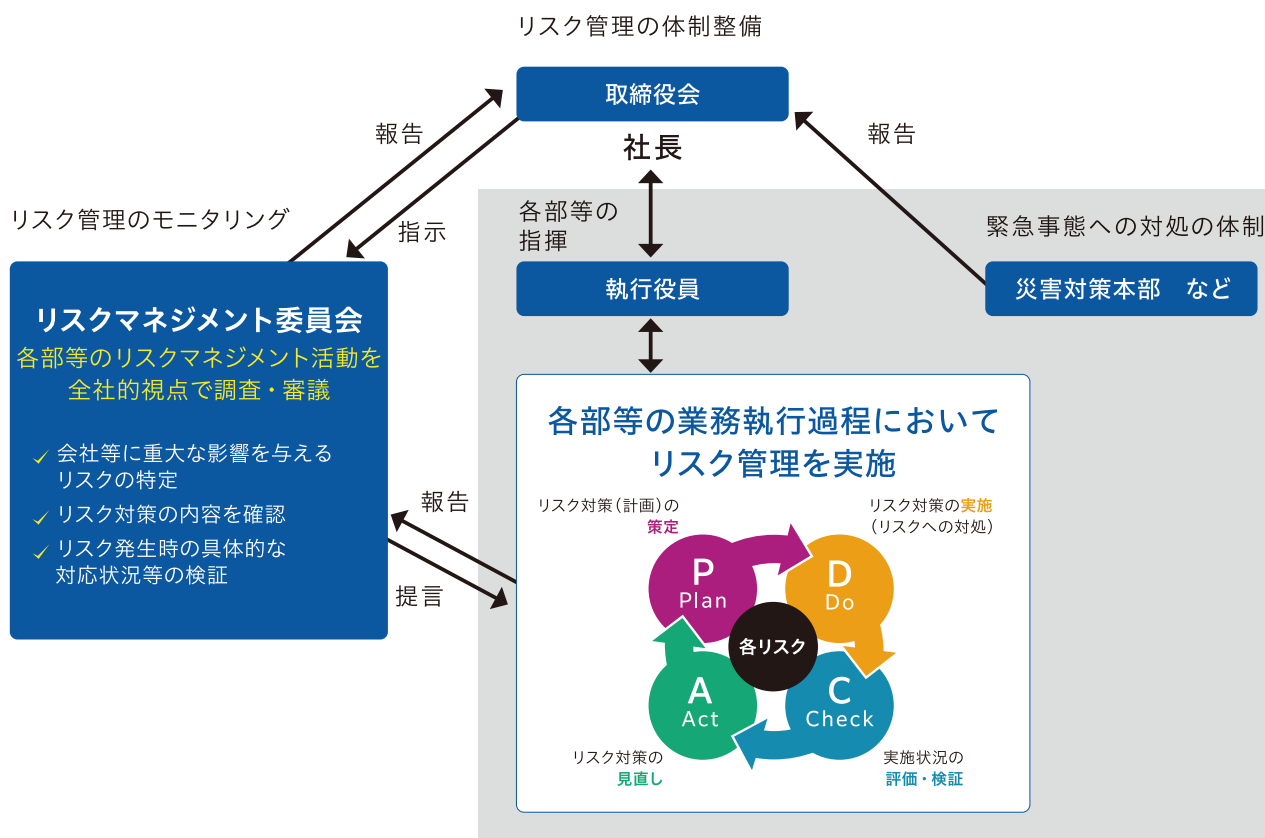


リスクマネジメントの推進

阪神高速道路(株)では、工事、安全、災害、個人情報保護、コンプライアンスなど、経営上の重大なリスクを把握・認識したうえで、発生頻度や発生時の影響度を勘案し、各部門において必要なリスク管理を実施しています。リスクマネジメント委員会は、各部門が実施するリスクマネジメント活動を全社的な視点で調査および審議することで、リスクの未然防止や事案発生時の適切な対応を可能とする実効的な体制を構築し、運用しています。なお、2025年度には、「リスクマネジメント委員会」を2回開催し、審議・報告された情報を取締役会に報告しました。



情報セキュリティの強化

阪神高速道路(株)では、安全かつ安定的で、お客さまおよび関係者から常に信頼していただける組織を目指し、情報セキュリティの強化に取り組んでいます。

具体的には、業務上保有する情報資産の適正な取り扱いを行うため、社内体制の整備を推進する「情報セキュリティ委員会」の設置、情報資産の重要度に応じた安全対策、標的型攻撃メール訓練などの社員教育の継続的実施のほか、ICTソリューションを活用したサイバー攻撃や情報漏えいの対策など、物理的、人的および技術的なセキュリティ対策について取り組んでいます。なお、2025年度は「情報セキュリティ委員会」を1回開催し、また、大阪・関西万博の開催を踏まえ、サイバー攻撃を想定したインシデント対応演習を5回実施しました。

これらに加え、情報資産を的確に取り扱い、適正に保護するための運用ルールの改善も進めており、阪神高速グループ全体として情報セキュリティのさらなる強化に取り組んでいきます。